

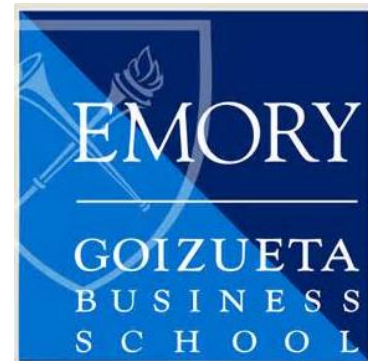
---

# 米国MBA受験体験記

2017年7月

---

Emory University  
Goizueta Business School  
Two-Year MBA ('19)



# 目次

---

## 1. プロフィール

## 2. 受験結果

## 3. 本資料の全体像・コンテンツ

## 4. TOEFL対策

## 5. GMAT対策

## 6. エッセイ/インタビュー対策

## 7. 他者との差別化/Waitlist 対策

## 8. 終わりに

## 1. プロフィール

**大学時に9ヶ月ほど米国滞在経験あり。ただし、それ以降英語を使う機会は皆無**

---

- 33歳。妻あり。子供なし。

### 【学歴】

- 私立文系。
- 学部卒。
- 大学在学時に交換留学にて9ヶ月ほどの海外滞在経験あり。
  - それ以外では海外経験はなし。

### 【勤務歴】

- 2008年に某コンサル会社に入社。
  - 戦略系・業務系コンサルのプロジェクトを幅広く経験。
  - 残念ながら、MBA受験に役立ちそうな自動車産業への仕事や商社向けの仕事などは皆無。
    - 強力な日本の自動車産業や、日本独特のビジネスモデルである商社について語れることは、ビジネススクールに対するHow to contributeの観点からアピール材料になり得る。
- 海外と関連する仕事はこれまで皆無。

## 2. 受験結果

# 日本人にとって点数が低いと致命的なGMAT Mathが足枷となった米国MBA受験。 何とかゴイズエタに合格

- TOFELは100点台後半、600点台中盤ほどのスコアで出願。
- 米国15位以上を狙うのであれば、GMAT680以上無いとかなり厳しいという感覚。

※ランキングは媒体によっても年によってもかなり異なるが、私の肌感覚的には以下のようなイメージ

出願校		米国ランキン グのイメージ ※	出願時期/ ラウンド	結果	備考
				合否	
米国	Emory(Goizueta) ※Two-Year MBA	16~20	2nd / 1月	合格	進学先
	North Carolina(Kenan Flagler)	16~20	2nd / 1月	不合格	通常であれば、(仮にサードラウンドであっても)少なくともインタビューには呼ばれるスコアだが、インタビューにも呼ばれず何か決定的な落ち度があったと推察。
	Babson(F.W.Olin)	-	2nd / 1月	辞退	Emory合格のため辞退
	Cornell(Johnson) ※Two-Year MBA	10~15	3rd / 3月	Waitlist	ウェイトリスト入りも厳しいスコアだが健闘した
	UCLA(Anderson)	10~15	3rd / 3月	不合格	インタビュー無し
	Michigan(Ross) ※GMBAなどではなく通常のMBA	10~15	3rd / 3月	不合格	インタビュー無し

### 3. 本資料の全体像・コンテンツ

以降のページでは、以下の受験プロセスに則って、自分なりの工夫やノウハウを共有する

受験プロセス	本資料のコンテンツ
TOEFL/ IELTS	TOEFLのセクション別のアプローチ概要 等
GMAT/ GRE	GMATのセクション別のアプローチ概要 CR/SCの回答の流れ 等
エッセイ作成	エッセイ・インタビューの内容作りの際のポイント 適切なエッセイ・インタビューカウンセラーの要件 等
インタビュー 実施	
他者との差別 化/Waitlist 対策	ライバルと差をつけるための取り組み ビジネススクールが期待するWaitlist対策 等

## 4.TOEFL - セクション別のアプローチ概要

**以下のメモを整理して、受験前日に毎回確認していた。**

### ■ 事前

- 5 番目くらいにスタートするのが理想
- 1.5倍速でポドキャスト聞いて、速い英語に耳を慣れさせた状態で臨む。

### ■ Reading

- 先に問題数をチェック。41であれば、対比がくすることを意識して文章を読む。
- 一旦文章全体を読む。（パラグラフごとにどのようなことが書いてあったかを頭で整理して読み進める。）
- 8割正解だと思ったら、その選択肢を選んで次の問題へ。（タイムマネジメント）

### ■ Listening

- ストーリーの組み立てを意識しながら一言一句聞く。
- 固有名詞（人の名前など）が例などと一緒に出てきたら、それに関連する内容はメモを取る。（それ以外はメモを取らない）
- 分からない問題はもっともらしそうなを選んで次に進む！（タイムマネジメント）

### ■ Speaking

- Intは内容を聞きながら基本すべてメモをとる。それを読みながら、内容を全て時間内に話すことを優先させてしゃべる。流暢でなくていい！早く話す！

### ■ Writing

- Intelはメモを取る。Rのメモは読み終わった後、日本語で取る。Lのメモは基本的には聞き終わったあと取るが、詳細な内容は聞いている最中にメモしておく。
- 冒険しない、文字数も気にせず、着実な文章を作ることに意識を集中させる。

## 4.TOEFL

# 目標点(合計)に達するために、 自分にとって最も合理的なセクション別の点数配分をシミュレーションして、対策を行った

- 人によってR,L,S,Wの4つのセクションの得意不得意や今後どれほどスコアが伸ばせるかのポテンシャルは異なる。
- 目標点(合計)を目指す上で、自分がどのセクションをどれほど伸ばさせることが最も合理的かを見極めることが重要。

### エクセルのシミュレーションシート

3月目標														
Section			Score(raw)	Score(raw)	Final Score		Section	Avedrage	Total score scale range	Final Score				
Reading				0	30		Reading	-				Good		
Listening				0	28		Listening	-				Good		
Speaking	Task1		3	3	23		Speaking	Ind	3	23		Fair		
	Task2		3						Campus	3	23		Fair	
	Task3		3						Academic	3	23		Fair	
	Task4		3						Writng	Int	4.5	28		Good
	Task5		3							Ind	4.5	28		Good
	Task6		3											
Writng	Int	people	4	4.5	28									
		e-rater	5											
	Ind	people	4											
		e-rater	5											
Total					109									

## 5. GMAT – 各セクション別のアプローチ概要

以下のように解き方の要領を整理して、試験に臨んだ。

Integrated Reasoning(12問、30分)

- 簡単そうな大問のみ解く

Math (37問、75分) 単純計算で2分/問

- まず、DSかPS問題かを把握。
  - P Sの場合、選択肢の形式に答えのヒントがないか確認
- 日本語に訳さずに英語のまま問題文の内容把握につとめる。(単語を読み飛ばさずに)
- テクニク的な解法がないか確認。ある場合、正攻法で攻めるかテクニクで攻めるかを判断する。
- 回答案が出たら(出す際)、求められている内容に沿っているか、0条件を踏まえているか、の2点を確認。

※明らかに難しい、解き方の道筋が見えない問題は捨てる。

Verbal

- SCは、選択肢の先頭と末尾を縦に見た上で、横に読んで解く。頭の中で言語化して、確実に正解を選ぶ。
  - 少し時間をかけても納得いく選択肢を選ぶ。
- CRは何問題かを確認し、前提とコンクルージョンを意識しながらargumentを理解する。その上で、アサンプションをイメージアップし、選択肢を予想。
  - 選択肢を吟味する。(よっぽど自信がない限り、他の選択肢も確認する)
  - 少し時間をかけても納得いく選択肢をえらぶ。(文章(argumentと選択肢)を流れるように、集中して)
- RCはまず1問目の内容をチェックの上、流れるように読む。その上で文のポイントを意識。(文章を流れるように、集中して読む)
  - 文章全体について問う問題はそのまま回答。
  - 文章の一部について問う問題は該当部分を参照して、答えを予想してから、選択肢をチェック。
    - ※ 3つ目のRCになったとき、2.5分×1問分時間があまっていたら、簡単に文章を流し読みして問題を解く。



## 5. GMAT

### SCの回答フロー詳細

---

1. 選択肢を縦に見てキーとなる論点を見極める（どの知識で解く問題かを見極める）。  
削除できるものは削除する。
  2. 選択肢を横に見てSV、並列構造・イディオムを把握、合わない選択肢を消去。
  3. 残った選択肢の中で細かい論点を詰めて、正解を選ぶ。
  4. 絞りきれないときは意味で判断してみる
- ※ 1分30秒くらいでまずは解けるようにする。

## 6. エッセイ/インタビュー対策

### 自分を合格させると何が嬉しいか？合格を出したら確実に入学しそうか？ の2つの観点からアドミッションを説得すべき

- ①出願先にとって**何故（自分を）合格させるべき**なのか、②合格させたら**確実に進学しそうか**、の2点からアドミッションを説得すべき。

#### ■ ①に対するアプローチ

##### 1. **卒業生として将来活躍が期待できる**と思ってもらうこと。

⇒実現可能性のある短期的および中長期的なキャリアゴールを具体的に描く。

⇒これらのキャリアゴールに向けてMBAでの学びがどう生きるかを明確にする。

（特に**出願校の特徴と結びつける**ことが重要！この辺りを明確化するために、在校生・卒業生などに話を聞いて、名前とともに話した内容をエッセイ・インタビューに含めることもテクニック）

⇒これまでの経験や養ったスキルが、どうキャリアゴールに結びつくかを具体化する。

##### 2. **在校生としてコミュニティに貢献してくれそう**と感じてもらうこと。

⇒自分がこれまで学んできたことが、他の同級生、授業、クラブ活動、その他のコミュニティなどでどう活かせるのかを明確化する。

#### ■ ②に対するアプローチ

- できるだけ、**多くの在校生・卒業生と会って**会った事実を伝えること。

（在校生・卒業生と話した内容から**何を学んで、どう志望度が高まったか**を明確に伝えられるようにすること。）

- できれば、キャンパスビジットを行うこと、そこで**アドミッションと面会**すること。できれば、**教授などとも会い**、アドミッションにその事実を伝えること。

## 6. エッセイ/インタビュー対策

### エッセイ・インタビューのカウンセラー選びは、いわずもがな重要である

---

- 適切なエッセイ・インタビューカウンセラーを見つけることは、当然受験の成否を大きく分ける。
- 適切なカウンセラーとは？

⇒前頁に記載した内容について、**当然のように理解している**カウンセラーであること。

⇒自分が持つ体験・能力を、嘘にならない範囲で**最大限に引き出せるストーリー作成能力がある**こと。

⇒**各校の特徴を理解**し、それに応じたエッセイ・インタビュー対策を提供できるスキルがあること。

私はインターフェイス社のデバリエ氏にエッセイ・インタビューカウンセラーの双方をお願いしたが、上記の条件を全て満たしたカウンセラーであったため、エッセイ・インタビュー対策がスムーズに進んだ。

## 7. 他者との差別化/Waitlist対策

他者との差別化を目指し、『教授/著名な卒業生に対するアドミッションへの推薦依頼』  
『アドミッションのトップとのOne on Oneセッション』などを実施。

- 他者との差別化を目指し、以下の取り組みを行った。
  - **アドミッションオフィスのトップとのOne on Oneセッション。**
    - 直接アドミッションのトップに連絡し、キャンパスビジットする際に、話を聞きたいという名目でアポを取得。
  - キャンパスビジット時に著名な**教授のオフィス**を訪問。
    - その場で、**教授の専門領域でディスカッション**。どのように自分が教授の専門領域で貢献できるかを語り、アドミッションに直接**自分を推薦してもらった**。
  - 有名な卒業生と仲良くなり、**アドミッションに推薦状を書いてもらった**。
  - 日本人以外を含む**教授・在校生・卒業生合計10名とコミュニケーション**を取り、詳細をつづった**PPT資料を作成**した。
- 上記の取り組み全てを行っても、残念ながら（米国MBA受験において）GMATのビハインドを完全にリカバリーすることは難しい。
- ただし、GMATのスコアが合格水準に達している場合、**他の合格水準に達している他者との差別化という意味では非常に大きな威力を持つ**と思われる。

## 7. 他者との差別化/Waitlist対策

### 某スクールのアドミッションオフィスからじきじきに入手したWaitlist対策一覧

- 「Recommended Strategies for Improvements」の列の固有名詞（Courseraなど）はデバリエ氏が汎用的に勧めていた対策とも重複しており、汎用的にWaitlist対策に使える内容と推察される。

No	Potential Weaknesses	Recommended Strategies for Improvements
1	GMAT or TOEFL score below the median	Retake the exam and send an updated score report
2	Limited exposure to quantitative coursework or tasks / Low GMAT quantitative score (below 65%)	Improve your GMAT quantitative score and/or complete quantitative coursework such as a course at your local university or online courses through Coursera. In addition, you may consider supplementing with mbamath.com
3	Communication skills	Join Toastmasters or a similar public speaking group. For non-native English speakers: read English literature, watch English television shows and interact with native English speakers as much as possible
4	Planning a significant career transition without prior preparation	Network with individuals in your desired industry and consider refining your goals, read The Two Hour Job Search, consider a viable Plan B
5	Limited career experience	Demonstrate significant achievements and leadership successes by sending updates and/or obtaining an additional recommendation -this can include activities/experiences outside of the workplace
6	Fit and commitment to our school	Contact current students, faculty, staff, and/or alumni to learn about our school and how you could contribute Provide an updated statement about why our school is the best MBA program for you

## 8. 終わりに

# 運に左右されることも多分にあるMBA受験だが、常にベストを尽くせばそれなりの成果は挙がるはず

- MBA受験は多種目競争のようなものだと思います。
  - 1種目でうまくいっても、他の種目でうまくいかないということもあります。
- うまくいかないときでも、常にベストを尽くすことが重要だと思います。
  - うまくいかないときは、なかなか萎えるものですが、気持ちを如何に切り替えられるかが差をつけるものだと割り切りましょう。
- また、仕事をしながら留学の準備をするのは並大抵のことではありません。
  - 仕事をうまく調整しましょう。人生でたった一回のことです、周囲に甘えましょう。そして、しっかり感謝を伝えましょう。
- みなさんの受験を応援してます！